

もっと知ってほしい、デイケアだからできること。

# ほほえみ通信+

ぷらす

hohoemi



vol.02

Oct. 2018

西宮協立デイケアセンター ほほえみ  
西宮市津門呉羽町10-13  
TEL:0798-36-6780 FAX:0798-36-6766

西宮協立デイケアセンター 第2ほほえみ  
西宮市津門呉羽町9-10 1F  
TEL:0798-33-3501 FAX:0798-33-3502



言語聴覚士、歯科衛生士、看護職員による口腔機能向上サポート

## 口腔機能向上加算について

「口腔清潔」「唾液分泌<sup>そしゃく</sup>」「咀嚼（噛む）」「嚥下（飲み込み）」などの口腔機能が低下している利用者に対して、口腔機能向上を目的として、口腔機能の指導や咀嚼訓練などの適切な指導が行なわれた場合に加算されます。

### 点数

- ◆介護：150単位/回（1月に2回限度）
- ◆予防：150単位/月

### 留意事項

歯科診療にて、摂食嚥下療法を算定されていると、介護報酬での口腔機能向上加算は算定できません。

### 算定要件

- ◆言語聴覚士、歯科衛生士又は看護職員を1名配置していること
- ◆口腔機能改善管理指導計画を作成して進捗状況を定期的に評価していること
- ◆口腔機能向上サービスを行っているとともに、利用者の口腔機能を定期的に記録していること

### リハビリテーション内容

口腔体操、呼吸練習、食事観察・指導、食事形態の指導、自助具の検討 など

### 対象者

- 以下3つのうち、2項目が該当する方
- ◆半年前に比べて硬い物がたべにくい
  - ◆お茶や汁物などでむせることがある
  - ◆口の渴きが気になる

口腔機能の低下している方または機能低下が予想される方



実際の取り組み  
内容は裏面を  
ご覧ください♪



# おいしい食事のために お口のリハビリを!



言語聴覚士 田山 幸子

## 対象

### プロフィール

年齢：77歳  
介護度：要介護2  
疾患名：脊髄小脳変性症

疾患の影響から半年前に比べて話しにくくなり、普通食が食べにくい状態になった。さらに自宅での転倒の際に歯が折れてしまい、ペースト食しか食べられなくなったため、介入することとなった。

## 1

### 《目標》 新しい義歯に慣れる



言語聴覚士が口腔器官の評価・摂食評価を行ない、口の体操や会話練習を実施。評価の結果、全粥を提供し粒のある食事に慣れてもらう。

### 結果

義歯に違和感を感じるものの、自宅でも柔らかく炊いた野菜が食べられるようになった

## 2

### 《目標》 1cm程度のきざみ食が食べられる



きざみ食の昼食

義歯の調整がうまくいっていることを確認する。全粥・粗きざみ(1cm角)を提供し咀嚼の練習をしてもらう。

### 結果

30分以内で食べられ、自宅でもぎょうざやメンチカツ等が食べられるようになった

## 3

### 《目標》 軟らかいご飯が食べられる



ご本人を中心に多職種が集まるリハビリ会議の際に進捗状況を話し、自宅でも少しずつ咀嚼できる食事にしてもらうよう、ご家族へ話をする。

### 結果

自宅でも軟らかく炊いたご飯が食べられるようになった。

## まとめ

言語聴覚士が評価することで、適切な食事形態を設定できた。ご家族への具体的アドバイスで自宅での食事と連動ができた。口の体操を継続して実施し、段階的に食事形態を上げることで固い物を食べることへの抵抗感を減らすことが可能となった。今後は普通食が食べられることを目標に実施していく。